

目 次

第一部 詳細調査

・ フランス	1
1 . 関連データ	2
(1) 石綿の使用量、輸入量、消費量	2
(2) 石綿健康被害の状況と中皮腫患者数の予測	2
2 . 石綿被害者補償基金の設立及びその運営組織体制	6
(1) 石綿被害者補償基金設立の背景	6
(2) 制度運営組織	9
3 . 石綿被害者補償基金の概要	14
(1) 石綿被害者補償基金の枠組み	14
(2) 制度の運用状況	15
4 . 補償内容	22
(1) 対象疾病及び給付額	22
(2) 認定基準及び認定方法	32
(3) 他の機関によって給付される補償との関係	34
(4) 裁判による補償との関係	34
5 . 運用上の課題	41
(1) 補償申請の増加と多様化	42
(2) 審査期限の不履行の増加	43
(3) 訴訟の増加による業務負担の増加	45
(4) 支払い遅延	46
(5) 人員不足の問題	46
6 . 石綿に係る調査および情報	47
(1) 石綿健康被害に関する調査研究	47
(2) 情報の公表	47
・ 米国	48
1 . 石綿関連データ	49
2 . 米国における石綿健康被害の状況	50
(1) 石綿健康被害の概要	50
(2) 石綿健康被害者の地理的な分布	51
(3) 今後の予測	53

3 . 法案提出の背景.....	55
(1) 背景の概要.....	55
(2) 労災制度の機能不全.....	56
(3) 多発する石綿関連訴訟と企業の石綿賠償責任の増大.....	57
4 . 法案の概要.....	61
(1) 法案の概要.....	61
(2) 石綿被害請求解決基金.....	63
(3) 対象疾病・給付額.....	65
(4) 診断パネル(第 105 条).....	67
(5) 医学的診断基準・認定方法(第 121 条).....	68
(6) 不服審査手続.....	76
(7) 石綿含有製品の禁止.....	78
5 . 法案に対する評価.....	79
(1) 中皮腫被害者保護委員会.....	79
(2) 労働組合統括組織 AFL-CIO の見解.....	79
(3) コンサルティング会社による法案 S.852 に基づく基金の経済分析.....	81
6 . 石綿健康被害に係る情報の収集・公開.....	82
(1) 米国疾病管理予防センターによるがん登録プログラム.....	82
(2) 国立がん研究所による SEER プログラム.....	83
(3) 国立労働安全衛生研究所(NIOSH)のプログラム.....	84

第二部 概況調査

．オーストラリア	85
1．石綿関連データ.....	87
2．石綿健康被害の状況.....	92
3．NSW 州における労働者向け石綿健康被害者補償制度	98
4．NSW 州粉じん疾患裁判所	110
5．石綿健康被害に係る調査研究・情報公開.....	119
6．石綿関連メーカーの対応.....	122
．オランダ	126
1．石綿関連データ.....	128
2．石綿健康被害の状況.....	130
3．石綿被害者機構による補償.....	135
4．石綿健康被害に関する情報の収集・公開.....	143
．イタリア	146
1．石綿関連データ.....	148
2．石綿健康被害の状況.....	150
3．石綿関連法令	159
4．石綿健康被害救済制度の概要	161
5．主な石綿関連訴訟の概況.....	164
6．石綿健康被害に関する情報の収集・公開.....	166
．カナダ	169
1．石綿関連データ.....	171
2．石綿健康被害の状況.....	175
3．石綿製造・輸出に係るカナダ政府の見解.....	183